

福知山市住民自治検討会議（第5回）概要報告

〔日 時〕平成30年1月22日（月）10：00～12：00

〔場 所〕市民交流プラザふくちやま

〔出席者〕委員…11人、事務局…7人（別紙のとおり）

〔傍聴者〕3人

■議事

（1）前回のふりかえり

事務局から説明

（2）地域の担い手について【意見交換】

○中間支援組織について

- ・地域だけでは無理なときに、外から見る人も要るかもしれない。しかし外からは村のことを分かっていないという部分もある。
- ・地域の中の人だけで凝り固まった部分には外の力が必要
- ・今、自治会と地域協議会が2層構造である中、中間支援組織が新たな階層になるのであれば不要と考える。専門性や外からの視点が必要なら、そのときの課題に応じて頼めばいい。組織として常設されている必要はないのではないか。
- ・組織をつくるとなると、それに見合った人材が必要になる。その人材がない。
- ・例えば本市既存のNPOに中間支援組織を名乗るところもある。新たに組織をつくるのではなく、そういった組織を活かすという方法もある。
- ・今ある地域協議会の事務局どおしが情報共有する仕組みがあれば、これから立ち上げを検討する地域にとっては十分中間支援として機能する。組織を新たに作るのではなく、今なる機能を強化して中間支援として機能させるという考え方もありうる。
- ・協議会と自治会よりも市と協議会との関係性の中でより中間支援組織の必要性があると考える。単独自治会としてできないことを協議会がするが、協議会だけでは難しい部分については、外からの人材や情報が必要となる。
- ・自治会長が1～2年で交代するのではなく4～5年程度のサイクルが維持できないと、担い手が育成されない。そういった継続可能な仕組みが必要
- ・自治会長の業務が多すぎることも担い手不足につながっている。中間支援組織はそんな自治会長の負担を少しでも軽減されるものであってほしい。
- ・現状、市内3つの地域協議会に関わっているが、自治会が積極的に地域協議会に協力しているとは言えない。自治会と地域協議会をつなぐのが中間支援組織や市の役割ではないか。

○地域協議会について

- ・自治会が動かないと地域協議会も動かない。自治会の連合体がきちりと機能している小学校区などでは、そういった組織が地域協議会的な役割を持てばいいのではないか。自分の地域には自治会長を中心に各種の地域団体の代表などが集まる会議

があり、それを地域協議会として位置づけるのが理想だと考えている。

- ・単純にまとまりとしては小学校の方が強いため、地域協議会としてもそのほうがやりやすいかもしれない。
- ・自治会長報酬も含めて予算としてまとめて地域に交付されたらどうなるだろうか。そうすれば地域ごとの予算協議などもできるのではないか。
- ・自治会長報酬は出ているが、自治会活動を支援する自治振興費のようなものはない。報酬よりも、自治振興費を出して欲しい。自治会組織に入ったお金の中から必要であれば、役員報酬などを支払えばいい。それは各自自治会で考えればいいこと。
- ・例えばさらに大きなくくりで、小学校区や中学校区ごとに地域協議会で自治振興費を受けて、それを自治会ごとに再配分するというやりかたもありえるのではないか。
- ・地域には自治会の連合体だけでなく、地区公民館、地域公民館、民生児童委員、消防団などの組織がある。
→それらの地域組織が連携し、地域の生活機能を守るのが地域協議会であり、単に自治会の連合組織との最大の違いだと考える。
- ・自治会では祭や公民館活動、防災がメインとなっており、福祉は民生児童委員の仕事という切り分け方になっている部分がある。これだけ福祉課題やニーズがある中で、組織論やスタイルばかり議論していても仕方ないのではないか。
- ・今の地域協議会では、いわゆる「まちおこし」が目立っているが、「地域の生活を守る」というテーマが地域協議会のベースであるべきと考えている。その意味で福祉を外すことはできない。
- ・今は自治会が直接個々に、市に要望や意見を言う関係があるが、地域協議会がそれらをまとめて、しっかりと市と交渉することができれば、またその仕組みがあれば、自治会も地域協議会に対する意識が変わってくると考える。
- ・地域住民が地域協議会をどう見ているか、は市が地域協議会をどう位置づけているか、にもよる。その位置づけを明確にしていきたい。
- ・やはり地区の中に存在する組織とその役割の見える化をすることが必要。いくつかの方向性を考えた上で、別々にやっていた組織や団体が一緒にやっていくために何が必要かを考えなければならない。その仕組みのベースは地域協議会かもしれないし、自治会の連合体なのかもしれない。
- ・小学校区内の団体長などが、一つに集まって話し合う場が既にある。それを地域協議会として位置づけられればと考える。

(委員長)

- ・この会議として一定まとまった意見として提言したいと考える。
- ・しかしまだ大雑把な議論しかできていないため、今年度はある程度の方向性のみを示し、それを市がどう取扱い、どう議論していくかを見ながら来年度継続して検討していくこととしたい。

■次回の開催について

- ・日程…3月中旬に開催、別途調整
- ・テーマ…自治会の負担軽減について